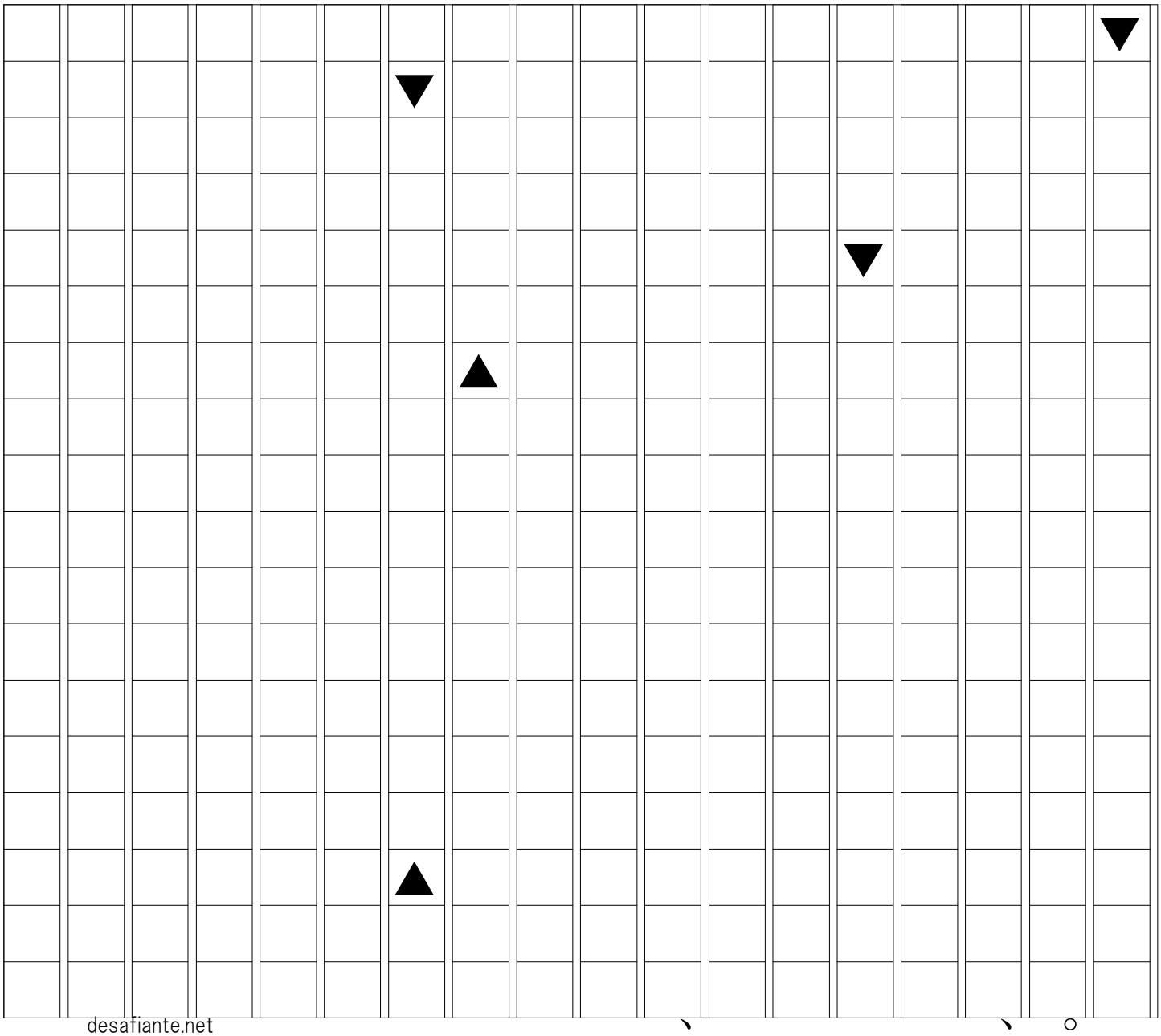
古文視写「おくのほそ道③」松尾芭蕉

名前（　　）

▼山形領に立石寺といふ山寺あり。慈覚大師の開基にして、ことに清閑の地なり。一見すべきよし、人々の勧むるによつて、尾花沢よりとつて返し、その間七里ばかりなり。▼日いまだ暮れず。ふもとの坊に宿借り置きて、山上の堂に登る。岩に巌を重ねて山とし、松柏年旧り、土石老いて苔滑らかに、岩上の院々扉を閉ぢて、物の音聞こえず。岸を巡り岩を這ひて、仏閣を拝し、佳景寂寞として心澄みゆくのみおぼゆ。▲

▼閑かさや岩にしみ入る蝉の声▲



desafiante.net